

Oracle データベースの可用性を向上させるバックアップ・リカバリーパッケージツール

RecoveryDB for Oracle

「RecoveryDB for Oracle」は、堅牢性／継続稼働の運用が強く求められるOracleデータベースを確実にバックアップし、スピーディーにリカバリーを行うソフトウェア・パッケージです。万一のハードウェアやソフトウェアの障害、または人為的ミスからOracleデータベースを守り、高信頼かつ安全なデータベース運用を支援します。

RecoveryDB for Oracle なら

Point 1 安全・確実

バックアップの整合性が取れていないと、せっかくのバックアップ資産も役立ちません。本製品では、バックアップ前に必ず正常性チェックを行うことで、信頼性の高いバックアップを実行します。またリカバリー処理では、破損状況に応じてリカバリー方法を自動判断して実行するため、確実にデータが復旧できます。

Point 2 人為ミス排除

従来、データファイル(表領域)、制御ファイル、アーカイブ ログファイル(更新ログ)などのバックアップ対象ファイルの整合性を保証した状態でバックアップ・リカバリーするには、複雑な操作手順が必要でした。本製品は、GUI画面からのマウス操作のみで簡単に実行できるため高度なスキルは必要なく、人為的ミスによる失敗を排除したバックアップ・リカバリーが可能になります。

Point 3 オンラインバックアップ

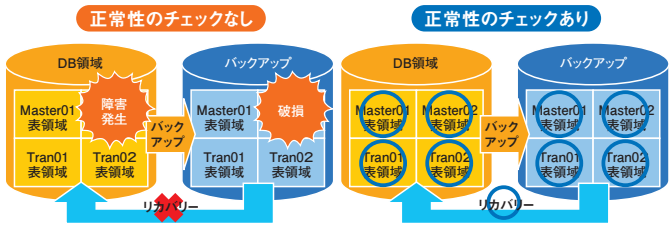
本製品は、Oracle社が推奨する手法(Recovery Manager)を使用し、データベースを停止せずにバックアップが取得できます。そのため、バックアップ時に業務を停止してビジネスの機会損失することがありません。

Point 4 専門技術不要 運用コスト削減

各種のスケジューラソフトウェアと連携することで、バックアップを自動化させることができます。また、データベースの高度な知識が無いオペレーターの方でもリカバリー作業を実行できるため、バックアップ・リカバリー時にはデータベース技術者が対応する必要がなくなり、運用コストを削減できます。

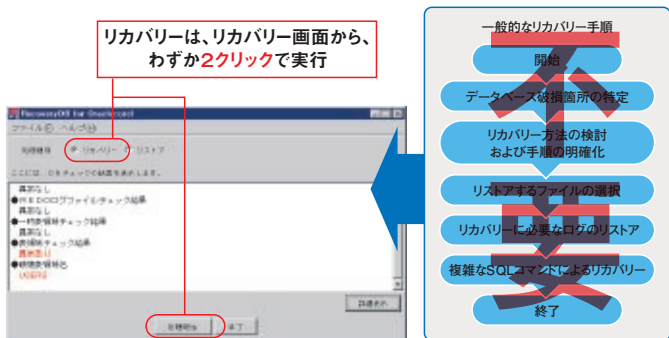
バックアップ資産の高信頼化

既に破損しているOracleデータベースの表領域をバックアップしても、そのバックアップ資産でのリカバリーでは正常に復旧できません。「RecoveryDB for Oracle」は、独自の「データベース破損チェック機能」により、Oracleデータベースの正常性をチェックした後でバックアップを行うため、信頼性の高いバックアップ資産を取得できます。



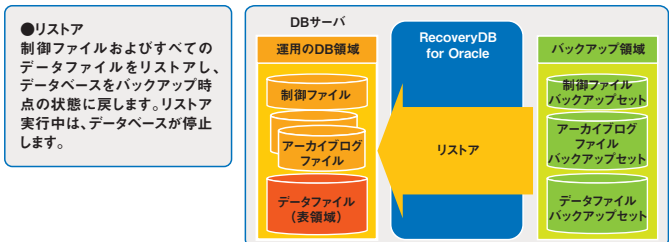
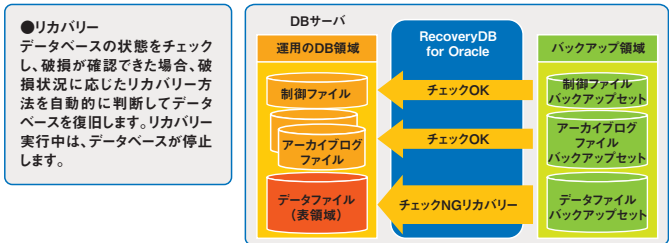
簡単なリカバリー操作

GUI画面に従ってOracleデータベースのリカバリーを簡単に行うことができ、業務の再開を安全・確実に行うことができます。



柔軟なリカバリー

復旧方法としてリカバリーとリストアが選択できます。リカバリーは、データベースの破損状況を自動的に判断し、状況に応じたリカバリーを実行することで、最新の状態まで復旧します。リストアは、制御ファイルおよびすべてのデータファイルをリストアし、データベース全体をバックアップ完了時点まで復旧します。



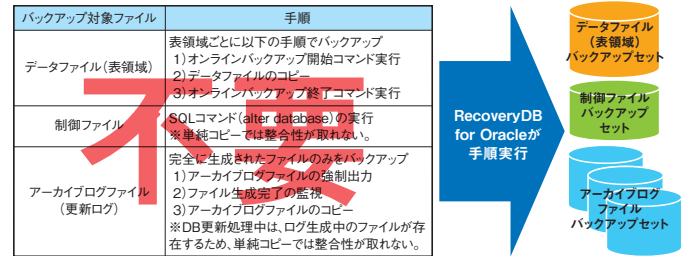
※サポートサービスには、バージョンアップ製品の無償提供サービスは含まれません。 ※平日：月曜日～金曜日(祝祭日および年末年始等の当社休日を除く) ●会社名、製品名等の固有名詞は各社の商号、商標または登録商標です。

ミドルウェア製品に関するご用命は

内容については、改善などのため予告無しに変更することがありますのでご了承下さい。

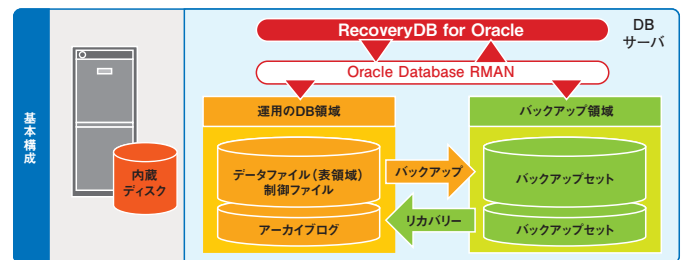
バックアップ手順の簡易化

複雑な操作手順を必要とするバックアップにおいて、「RecoveryDB for Oracle」を使用すれば、バックアップ対象ファイルの整合性を保証した状態で簡単にオンラインバックアップが可能です。さらに、スケジュールソフトとの連携でバックアップ運用の自動化が可能になります。



オンラインバックアップ・リカバリーの実現

Oracle社が推奨する手法(Recovery Manager)を使用することで、Oracleデータベースのオンラインバックアップやダウンタイムの短縮につながるリカバリーが可能になります。



動作環境

動作OS	<ul style="list-style-type: none"> Windows® 2000 Server (SP4以降) Windows Server® 2003, Standard Edition SP2 Windows Server® 2003, Enterprise Edition SP2 (すべて日本語32ビット版です。)
動作 Oracle Database	<ul style="list-style-type: none"> Oracle9i Database Enterprise Edition Release2(9.2.0.2以降) Oracle9i Database Standard Edition Release2(9.2.0.2以降) Oracle Database 10g Enterprise Edition Release1(10.1.0.3以降) Oracle Database 10g Standard Edition Release1(10.1.0.3以降) Oracle Database 10g Standard Edition One Release1(10.1.0.3以降) Oracle Database 10g Enterprise Edition Release2(10.2.0.3) Oracle Database 10g Standard Edition Release2(10.2.0.3) Oracle Database 10g Standard Edition One Release2(10.2.0.3) (Oracle JDBCドライバのインストールは必須です)
必須プロダクト	Java™ 2 Runtime Environment, Standard Edition 1.4.2_16
CPU	32ビットCPU(64ビットCPUは未サポート)
メモリ	RecoveryDB for Oracleが動作に必要なメモリは300MB以上必要。
ディスク容量	上記に加え、1データベース(1インスタンス)当たりOracle Databaseが動作に必要なメモリ容量とリカバリー・カタログ・データベースの動作に必要なメモリ容量(500MB)が必要です。 インストール領域 当製品をインストールするために100MBが必要です。 運用時に必要な領域 1データベース当たり、環境設定ファイル出力領域(100MB)と実行ログ出力領域(300MB)が必要です。 リカバリー・カタログ・データベース領域 1データベース当たり、2GB以上の容量が必要です。 バックアップ領域 データファイル(表領域)のバックアップ領域として「データファイルの容量×2」の容量が必要です。制御ファイルのバックアップ領域として500MB以上の容量が必要です。アーカイブログのバックアップ領域としてアーカイブログ領域以上の容量が必要です。
データベースの構成	シングル構成のデータベースに対応(クラスタ構成には対応していません)

価格

製品名	型番	価格(税込み)
RecoveryDB for Oracle 1.0 [Windows版] 2年間サポートパック	RDBW10P2A	¥365,400
RecoveryDB for Oracle 1.0 1年間追加サポートサービス	RDBW10S1A	¥25,200

富士通ミドルウェア株式会社

〒222-0093

横浜市港北区新横浜2-15-16 NOF新横浜ビル

TEL.045-475-9816 FAX.045-475-9891

http://jp.fujitsu.com/group/fmw/

E-Mail : info1@fmw.fujitsu.com